

「わが街健康プロジェクト。」ポスター

# 濱見さん(県立大)2年)グランプリ

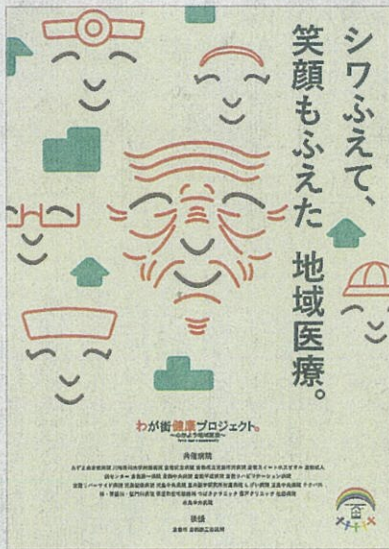
地域医療を身近に感じてもらうと、倉敷市など県南24医療機関が連携して市民向け医療講座を展開する「わが街健康プロジェクト。」そのPRポスターコンクールの入賞者7人が決まり、最優秀のグランプリに県立大デザイン学部2年濱見志歩さん(20)の作品が選ばれた。(安部晃将)



濱見志歩さん

デザイン系の学部、学科がある県立大と川崎医療福祉大の学生から計75点の応募があった。画題はプロジェクトが活動テーマに掲げる「医療機関と上手に付き合う」。表現力やデザイン性を基準に、24医療機関でつくる事務局がグランプリ1点、優秀賞5点、サポ

ター賞1点を選んだ。医療従事者や家族の笑顔  
濱見さんは「シワふえに囲まれて頬が緩むお年  
て、笑顔もふえた 地域 寄りの表情を柔らかなタ  
医療。」の標語とともに、ツチで描いた。「充実し



グランプリに選ばれた濱見さんの作品

## 地域医療への期待表現

た医療と人々の温かい心を支えに、年齢を重ねても安心して暮らせるまちであり続けてほしいとの願いを込めた」と話す。

濱見さんのグランプリ作品と、優秀賞のうち上位に輝いた県立大2年前川和美さん(20)、川崎医療福祉大3年板野百花さん(21)の作品は、公式ポスターとして4月から1年間、プロジェクトに参画する医療機関などで活用する。

プロジェクトは、倉敷中央病院(同市美和)などが2013年からスタート。ポスターコンテストは16年から開催し3回目。

他の入賞者は次の皆さん。(敬称略)

【優秀賞】西林侑哉(県立大) 平尾美奈(同) 和田季子(同)

【サポーター賞】西川紗世(県立大)